

がんばる地域の取り組み紹介



空き家を活用した通いの場の立ち上げ

	団体名	大橋3丁目健康会
	住所	宮崎市大橋地区
	連絡先	
	参考情報	平成27年10月より活動スタート 地区の特徴として一人暮らしの方が多い

きっかけは

住民が交流できる場所が身近にないのが長年地域の課題であった。「近隣の施設まで遠くて通えない」という声を度々聞きながらも、まとまった額が必要な新築や建て替えの余裕はなく、有効な解決策が見出せなかったが、市のアドバイスを受け、地域内にある空き家を公民館に再利用できる制度を知った。

活動状況

空き家を公民館に再利用し、地域住民の通いの場を立ち上げ！

公民館では、地区内の高齢者が気軽に参加して仲間づくりができるように、定期的に健康体操やレクリエーション等の介護予防活動を実施。

<地域包括支援センター職員による血圧測定>

<運動指導員による健康体操>



取り組みの始め方

既存の資源の有効活用で経費も時間も節減！

- ①空き家の家主との賃貸借契約
- ②市地域コミュニティ課へ「自治公民館借家料補助」の申請（家賃の半額補助）
- ③自治公民館連合会に加入
- ④地域包括支援センターと連携し、市長寿支援課の「介護予防アドバイザー」の活用や「介護予防グループ支援補助金」を申請（立ち上げ経費3万円助成）

インタビュー

公民館長 竹村 義政 さん

念願の地域の方が気軽に参加することができる場所ができました。今後は高齢者だけではなく、子供たちも一緒に参加する三世代交流に発展させていきたいです。



参加者 大谷 キヨ子 さん（86歳ですがとてもお元気！）



公民館ができるまでは、個々にそれぞれ活動をしていましたが、地域みんなで集まって親睦を図れるようになりとても良くなりました。また、普段はしない体操もできて助かっています。これからも続けていきたいです！